Kenshin Disclosure 2014.9

けんしんの現況



中間期ディスクロージャー誌

2014年（平成26年）4月1日～2014年（平成26年）9月30日

長野県信用組合 けんしん



本店

けんしんの概要

本店　〒380-8668
長野市新田町1103番地1
電話　026-233-2111（代表）

設立	昭和29年11月20日
出資金	10億63百万円
組合員数	132,511人
預金残高	8,899億円
貸出金残高	2,664億円
自己資本比率	19.49% （バーゼルⅢに基づく国内基準）
職員数	673人（男427人 女246人）
店舗数	51店舗
営業地域	長野県一円

（平成26年9月30日現在）



第2本店

目次

●ごあいさつ…… 1
●預金・貸出金の推移…… 2
●自己資本額・自己資本比率の推移…… 2
●決算損益の推移…… 3
●不良債権残高・不良債権比率の推移…… 3
●資金運用状況…… 3
●主要経営諸指標…… 4
●不良債権等の情報…… 5
●自己資本の充実の状況等…… 5

（注）本資料において掲載してある計数は、下記のとおり表示しております。

1. 金額
　単位未満を切り捨てて表示しているため、掲載金額の合計と表中の合計欄の金額が一致しない場合があります。
2. 構成比
　小数点第3位以下を切り捨てて表示しているため、掲載している構成比の合計が100%とならない場合があります。
3. 諸利回・諸比率
　小数点第3位以下を切り捨て第2位まで表示しております。
4. 主要経営諸指標・自己資本の充実の状況等における残高表示
　残高が全くない場合は「—」表示、表示単位未満の残高がある場合は「0」表示、当該期に勘定科目が存在しない場合は「／」表示しております。

ごあいさつ



会　長　細萱　英穂



理事長　山岸　光博

平素より皆さまには、長野県信用組合(通称:**けんしん**)に格別のご高配を賜りまして、心から感謝申しあげます。

平成26年度9月期の中間決算がまとまりましたので、ご報告申しあげます。

ご高覧を賜り、当組合の現況をご理解いただければ幸いに存じます。

さて、国内経済は総じてみれば回復の力強さに欠け、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

私ども**けんしん**は、こうした環境のなかで、一層の業績向上と経営体質の強化・改善に徹してまいりました。

その結果上半期の業績は、中間純利益において過去最高益となる20億75百万円を計上したほか、預金残高が8,899億円(前年同期比2.47%増加)、貸出金残高が2,664億円(前年同期比3.02%増加)にそれぞれ伸長するなど、着実な成果をあげることができました。

また、融資新商品の開発、顧客サポート体制の強化、各種セミナー開催、ネットバンキングサービスの機能充実及び安全性向上など、お客さまのニーズにお応えすべく鋭意取り組んでまいりました。

一方、順次進めている店舗の建て替えについて豊科支店が9月に竣工し、同店は新築を機に安曇野支店に名称変更して10月から営業開始いたしました。

皆さまのご支援に対して衷心よりお礼を申しあげます。

今後、下半期におきましても、私どもは皆さまのご期待に添えるよう経営全般に最善を尽くしてまいります。

皆さまにおかれましては、今後とも何分のご高配、ご利用を賜りますよう心からお願い申しあげます。

平成26年10月

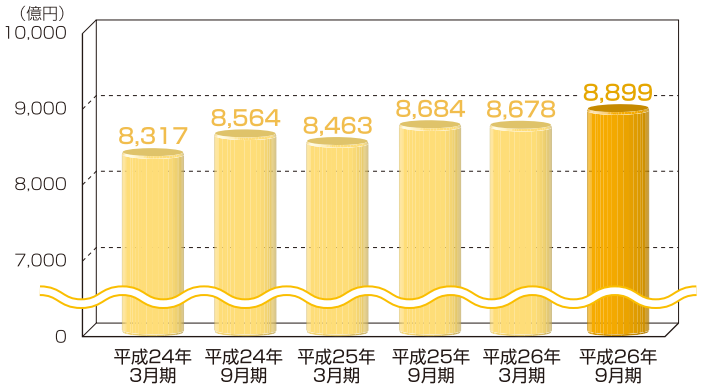
会　長　細萱　英穂

理事長　山岸　光博

預金・貸出金の推移

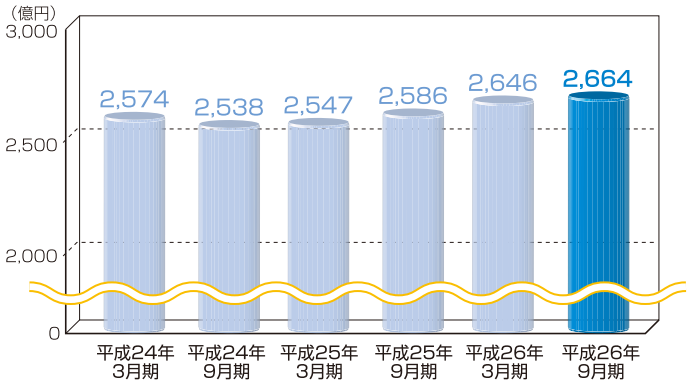
預金

「手のひら口座」・「夢計画」等を主体とした個人預金及び「成長計画」を主体とした法人預金の拡大に努めた結果、前年同期比214億円増加して残高は8,899億円となりました。



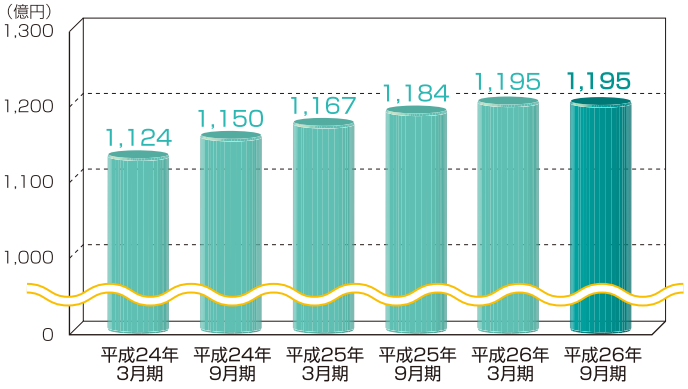
貸出金

医療関連融資を主体とした事業性資金の融資及び個人ローンに積極的に取り組んだ結果、前年同期比78億円増加して残高は2,664億円となりました。



手のひら口座

平成17年9月に取扱いを開始した「手のひら口座」《普通預金》の総残高は1,195億円となりました。



手のひら静脈認証口座「手のひら口座」

預金をお引き出しする際の本人確認を、手のひら静脈認証により行う、安全で有利な《普通預金》です。
口座のICキャッシュカードは無料で発行いたします。



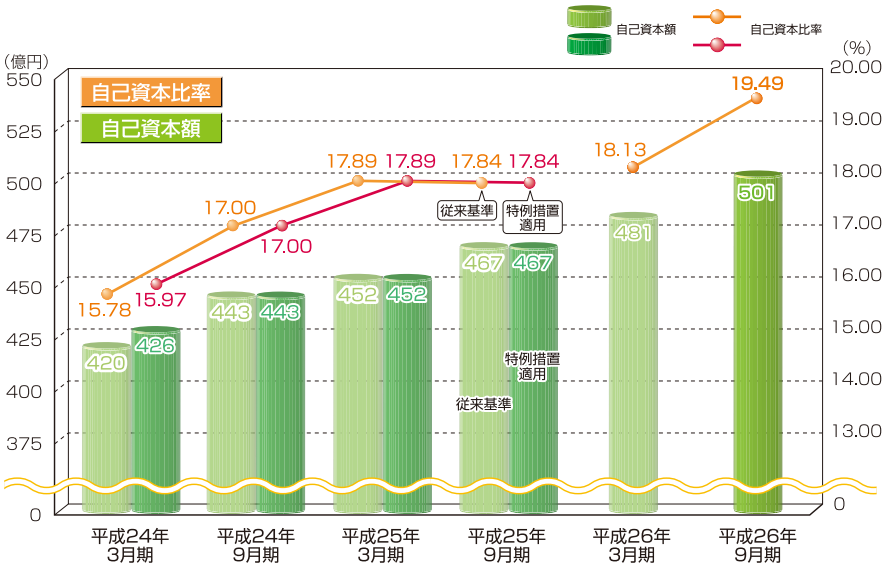


自己資本額・自己資本比率の推移

自己資本

自己資本比率は、中間純利益の過去最高益を受けて自己資本額が増加したことに加え、リスク・アセットが減少したことから、19.49%(前期末比1.36ポイント上昇)となりました。
当組合の自己資本比率は国内基準の4%はもとより、国際基準の8%を大幅に上回っており、経営の健全性・安定性は十分確保しております。

自己資本比率とは、金融機関の体力を示す最も重要な指標であり、損失が発生する可能性のある資産総額(リスク・アセット)に対する、自己資本(返済の必要がない資本)の割合を示しています。この比率が高いほど、自己資金が豊富にあり経営基盤がしっかりしているといえます。



(注)　平成25年9月期までは、従来基準による値と特例措置適用後の値を併記しております。
また、平成26年3月期からは、バーゼルIIIに基づく国内基準による値を記載しております。

決算損益の推移

（注）9月期は、4月から9月までの6か月間の計数を記載しております。

業務純益

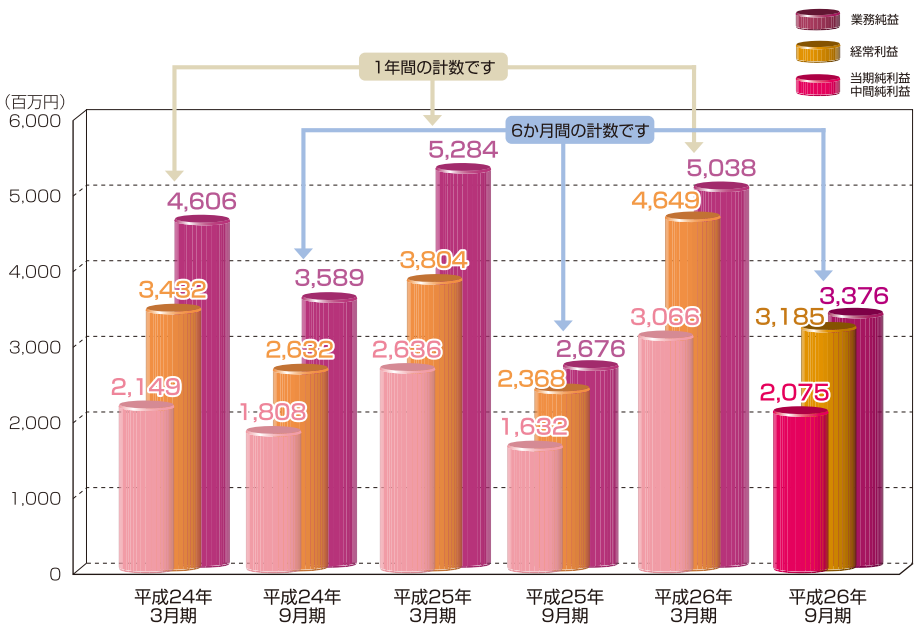
業務純益は、前年同期比7億円増益の33億76百万円となりました。運用の多様化を図ったことにより、有価証券利息配当金が前年同期比6億47百万円増加したこと及び効率的な運用により国債等債券売却益が増加したことに加え、経費の削減に努めたことが増益要因として挙げられます。

経常利益

経常利益は、業務純益の大幅な増益に加え、与信コストの減少を主因として前年同期比8億17百万円増益の31億85百万円となりました。

当期純利益・中間純利益

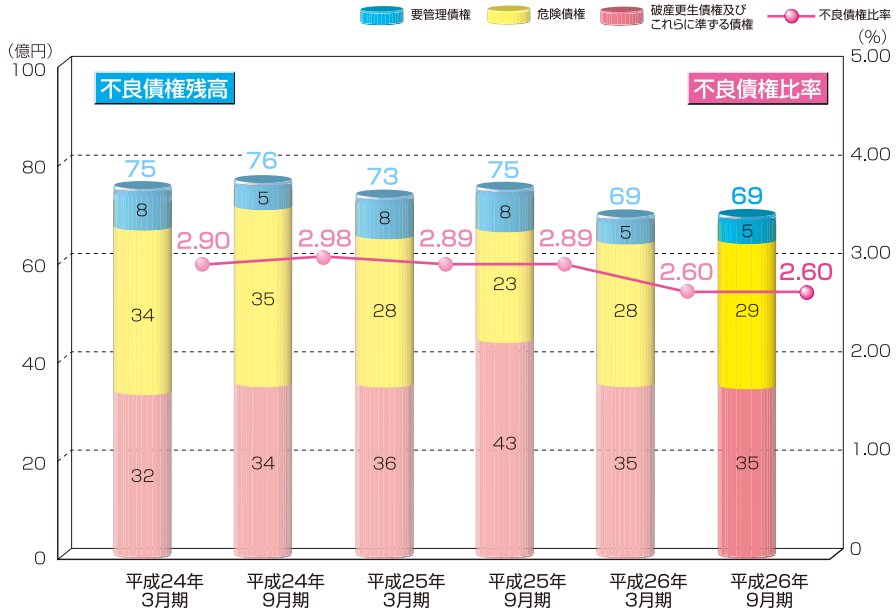
中間純利益は、経常利益の増益を受け、前年同期比4億42百万円増益の20億75百万円となりました。中間決算ベースでは、平成24年9月期の18億8百万円を超える過去最高益となりました。



不良債権残高・不良債権比率の推移（金融再生法ベース）

不良債権

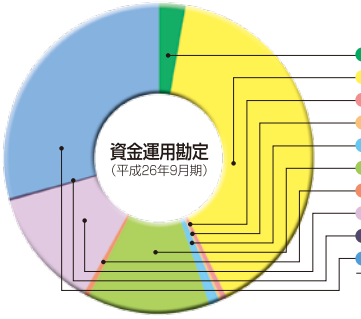
不良債権は、残高(金融再生法ベース)が69億74百万円(前期末比60百万円増加)となりました。また、総与信残高に占める比率は2.60%と前期末比同率で推移しました。
（部分直接償却を実施した場合の不良債権の額は52億31百万円となり、不良債権比率は1.96%となります。）



資金運用状況

資金運用状況

有価証券運用は、安全性の高い債券を主体に運用しております。

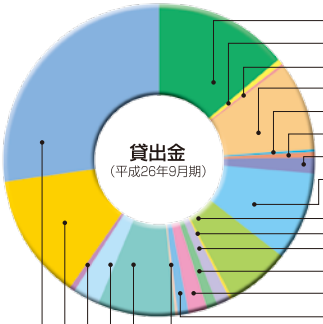


（単位:百万円）

預け金（無利息分除く）	31,052	（ 3.31%）
国債	376,684	（40.15%）
地方債	4,372	（ 0.46%）
政府保証債・公社公団債	1,159	（ 0.12%）
金融債	8,030	（ 0.85%）
事業債	126,437	（13.47%）
株式	4,707	（ 0.50%）
その他の証券	118,612	（12.64%）
その他	465	（ 0.04%）
貸出金	266,465	（28.40%）
合計	937,988	

貸出金業種別構成比

貸出金の業種別残高構成比は次のとおりになっております。



（単位:百万円）

製造業	36,619	（13.74%）
農林漁業	1,122	（ 0.42%）
鉱業、採石業、砂利採取業	78	（ 0.02%）
建設業	25,304	（ 9.49%）
電気、ガス、熱供給、水道業	485	（ 0.18%）
情報通信業	1,115	（ 0.41%）
運輸業、郵便業	3,900	（ 1.46%）
卸売業、小売業	25,455	（ 9.55%）
不動産業	17,853	（ 6.70%）
物品賃貸業	296	（ 0.11%）
学術研究、専門・技術サービス業	4,002	（ 1.50%）
宿泊業	2,897	（ 1.08%）
飲食業	5,174	（ 1.94%）
生活関連サービス業、娯楽業	3,092	（ 1.16%）
教育、学習支援業	407	（ 0.15%）
医療、福祉	21,835	（ 8.19%）
その他のサービス	8,147	（ 3.05%）
その他の産業	411	（ 0.15%）
地方公共団体	35,317	（13.25%）
個人	72,947	（27.37%）
合計	266,465	

主要経営諸指標

貸借対照表

（単位:百万円）

科　目	平成25年9月期（平成25年9月30日現在）	平成26年9月期（平成26年9月30日現在）	平成26年3月期（平成26年3月31日現在）
（資産の部）			
現金	10,379	10,021	10,683
預け金	39,613	31,128	28,306
有価証券	599,633	640,004	608,117
貸出金	258,642	266,465	264,676
その他資産	3,524	5,015	2,939
有形固定資産	16,508	15,719	16,138
無形固定資産	1,709	1,398	1,508
債務保証見返	618	684	572
貸倒引当金	△3,892	△3,500	△3,402
（うち個別貸倒引当金）	（△3,239）	（△2,952）	（△2,781）
資産の部合計	926,736	966,939	929,541
（負債の部）			
預金積金	868,473	889,962	867,840
その他負債	3,308	4,177	2,410
賞与引当金	346	348	303
役員賞与引当金	—	—	36
退職給付引当金	1,618	1,577	1,574
役員退職慰労引当金	40	51	45
睡眠預金払戻損失引当金	42	42	47
偶発損失引当金	36	41	50
繰延税金負債	334	4,372	1,170
債務保証	618	684	572
負債の部合計	874,819	901,258	874,051
（純資産の部）			
出資金	1,063	1,063	1,063
普通出資金	1,063	1,063	1,063
利益剰余金	45,005	48,504	46,439
利益準備金	1,063	1,063	1,063
その他利益剰余金	43,941	47,441	45,375
特別積立金	42,301	45,361	42,301
中間（当期）未処分剰余金	1,640	2,080	3,074
組合員勘定合計	46,069	49,567	47,503
その他有価証券評価差額金	5,848	16,112	7,986
評価・換算差額等合計	5,848	16,112	7,986
純資産の部合計	51,917	65,680	55,489
負債及び純資産の部合計	926,736	966,939	929,541

損益計算書

（単位:百万円）

科　目	平成25年9月期（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）	平成26年9月期（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）	平成26年3月期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）
経常収益	8,446	9,144	16,535
資金運用収益	6,208	6,809	12,583
貸出金利息	2,806	2,772	5,590
預け金利息	37	26	66
有価証券利息配当金	3,344	3,991	6,903
その他の受入利息	20	20	22
役務取引等収益	256	257	495
受入為替手数料	108	105	218
その他の役務収益	147	151	277
その他業務収益	1,711	2,059	3,025
国債等債券売却益	1,704	2,052	2,993
その他の業務収益	7	7	32
その他経常収益	269	18	430
償却債権取立益	0	1	1
株式等売却益	266	8	375
その他の経常収益	2	8	52
経常費用	6,078	5,959	11,885
資金調達費用	524	478	1,006
預金利息	523	478	1,005
給付補塡備金繰入額	1	0	1
役務取引等費用	429	432	864
支払為替手数料	39	40	79
その他の役務費用	390	392	785
その他業務費用	146	439	358
国債等債券売却損	145	438	356
その他の業務費用	0	1	1
経費	4,546	4,472	9,014
人件費	2,372	2,391	4,740
物件費	1,977	1,901	3,934
税金	195	179	340
その他経常費用	431	136	640
貸倒引当金繰入額	86	107	206
貸出金償却	—	—	8
株式等売却損	228	3	242
株式等償却	29	—	36
その他の経常費用	85	25	146
経常利益	2,368	3,185	4,649
特別利益	101	—	101
固定資産処分益	82	—	82
その他の特別利益	19	—	19
特別損失	114	77	208
減損損失	113	77	208
その他の特別損失	0	—	0
税引前中間（当期）純利益	2,355	3,108	4,542
法人税、住民税及び事業税	581	912	1,293
法人税等調整額	141	119	182
法人税等合計	722	1,032	1,475
中間（当期）純利益	1,632	2,075	3,066

経営指標の推移

（単位:百万円）

		平成24年3月期	平成24年9月期	平成25年3月期	平成25年9月期	平成26年3月期	平成26年9月期
利益	経常収益	19,140	10,312	18,290	8,446	16,535	9,144
	業務純益	4,606	3,589	5,284	2,676	5,038	3,376
	経常利益	3,432	2,632	3,804	2,368	4,649	3,185
	中間純利益（3月期は当期純利益）	2,149	1,808	2,636	1,632	3,066	2,075
残高	預金積金残高	831,727	856,440	846,382	868,473	867,840	889,962
	貸出金残高	257,465	253,872	254,739	258,642	264,676	266,465
	有価証券残高	561,127	576,759	596,543	599,633	608,117	640,004
	総資産額	878,153	906,455	906,501	926,736	929,541	966,939
	純資産額	41,316	44,026	53,470	51,917	55,489	65,680
出資総額		1,064	1,064	1,063	1,063	1,063	1,063
職員数		670人	696人	662人	683人	652人	673人

有価証券の状況

（単位:百万円）

		平成26年9月期					
		貸借対照表計上額	平成26年3月期比	評価損益	平成26年3月期比	うち評価益	うち評価損
保有目的別	満期保有目的	102,649	△86	11,229	1,127	11,229	—
合計		102,649	△86	11,229	1,127	11,229	—
種類別	債券	102,649	△86	11,229	1,127	11,229	—

（単位:百万円）

		平成26年9月期					
		貸借対照表計上額	平成26年3月期比	評価損益	平成26年3月期比	うち評価益	うち評価損
保有目的別	その他有価証券	537,355	31,974	22,163	11,207	22,228	65
合計		537,355	31,974	22,163	11,207	22,228	65
種類別	株式	4,707	148	1,030	398	1,079	49
	債券	414,035	△11,738	10,936	1,993	10,953	16
	その他	118,612	43,564	10,196	8,815	10,196	—

（注）1. 売買目的有価証券、子会社・子法人等株式及び関連法人等株式に区分した有価証券はありません。
2. 評価損益は、時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券197百万円を除き、市場価格等に基づき算出しております。

諸利回・諸比率

（単位:%）

	平成25年9月期	平成26年9月期	平成26年3月期
資金運用利回	1.41	1.51	1.42
経費率	1.06	1.02	1.05
資金調達原価率	1.19	1.13	1.17
総資金利鞘	0.22	0.38	0.25
預貸率（末残）	29.78	29.94	30.49
預証率（末残）	69.04	71.91	70.07
業務収支率	67.27	63.00	68.71

不良債権等の情報

リスク管理債権及び同債権に対する保全額

（単位:百万円、%）

区分			残　高 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全率 {(B+C)／A×100}
破綻先債権	平成26年3月期		49（0.01）	16	32	100.00
		※	22（0.00）	16	5	100.00
	平成26年9月期		91（0.03）	50	41	100.00
		※	55（0.02）	50	4	100.00
延滞債権	平成26年3月期		6,324（2.38）	3,288	2,730	95.15
		※	4,795（1.82）	3,288	1,201	93.61
	平成26年9月期		6,321（2.37）	3,133	2,892	95.33
		※	4,622（1.74）	3,133	1,193	93.61
3か月以上延滞債権	平成26年3月期		—（—）	—	—	—
		※	—（—）	—	—	—
	平成26年9月期		—（—）	—	—	—
		※	—（—）	—	—	—
貸出条件緩和債権	平成26年3月期		529（0.19）	310	48	67.92
		※	529（0.20）	310	48	67.92
	平成26年9月期		539（0.20）	310	58	68.41
		※	539（0.20）	310	58	68.41
合計	平成26年3月期		6,903（2.60）	3,615	2,811	93.10
		※	5,347（2.03）	3,615	1,256	91.09
	平成26年9月期		6,953（2.60）	3,494	2,992	93.30
		※	5,217（1.97）	3,494	1,256	91.07

残高（　）内は、貸出金残高に占める比率

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

（単位:百万円、%）

区分			残　高 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D=B+C)	保全率 (D／A×100)	貸倒引当金引当率 {C／(A-B)×100}
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	平成26年3月期		3,528（1.32）	1,707	1,821	3,528	100.00	100.00
		※	1,964（0.74）	1,707	257	1,964	100.00	100.00
	平成26年9月期		3,522（1.31）	1,488	2,033	3,522	100.00	100.00
		※	1,778（0.66）	1,488	289	1,778	100.00	100.00
危険債権	平成26年3月期		2,856（1.07）	1,600	950	2,550	89.27	75.62
		※	2,856（1.08）	1,600	950	2,550	89.27	75.62
	平成26年9月期		2,913（1.08）	1,709	908	2,617	89.86	75.48
		※	2,913（1.09）	1,709	908	2,617	89.86	75.48
要管理債権	平成26年3月期		529（0.19）	310	48	359	67.92	22.31
		※	529（0.20）	310	48	359	67.92	22.31
	平成26年9月期		539（0.20）	310	58	369	68.41	25.44
		※	539（0.20）	310	58	369	68.41	25.44
不良債権合計	平成26年3月期		6,914（2.60）	3,618	2,820	6,438	93.11	85.55
		※	5,350（2.02）	3,618	1,256	4,874	91.10	72.51
	平成26年9月期		6,974（2.60）	3,508	3,000	6,509	93.32	86.56
		※	5,231（1.96）	3,508	1,256	4,765	91.09	72.96
正常債権	平成26年3月期		258,546					
		※	258,546					
	平成26年9月期		260,374					
		※	260,374					
合計	平成26年3月期		265,460					
		※	263,896					
	平成26年9月期		267,349					
		※	265,605					

残高（　）内は、総与信残高に占める比率

各区分ごとに参考数値を記載しております。

※部分直接償却について

当組合は、部分直接償却を実施しておりません。部分直接償却を実施した場合は、表記（※印のついた行）のとおりとなります。

部分直接償却とは、自己査定により回収不可能又は無価値と判定された担保・保証付債権等について、債権額から担保の評価額及び保証による回収が可能と認められる額を控除した残額（Ⅳ分類債権額）を取立不能見込額として、債権額から直接減額することです。

自己資本の充実の状況等

自己資本の構成に関する開示事項

（単位:百万円）

項目	平成26年9月期	経過措置による不算入額
コア資本に係る基礎項目　(1)		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	49,567	
うち、出資金及び資本剰余金の額	1,063	
うち、利益剰余金の額	48,504	
うち、外部流出予定額（△）	—	
うち、上記以外に該当するものの額	—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	562	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	562	
うち、適格引当金コア資本算入額	—	
コア資本に係る基礎項目の額　(イ)	50,130	
コア資本に係る調整項目　(2)		
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）の額の合計額	—	1,019
うち、のれんに係るものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	—	1,019
コア資本に係る調整項目の額　(ロ)	—	
自己資本		
自己資本の額（(イ)−(ロ)）　(ハ)	50,130	
リスク・アセット等　(3)		
信用リスク・アセットの額の合計額	232,563	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	1,019	
うち、無形固定資産（のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。）	1,019	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	24,623	
リスク・アセット等の額の合計額　(ニ)	257,186	
自己資本比率		
自己資本比率（(ハ)／(ニ)）	19.49%	

（注）　自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第六条第一項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第22号）」に基づき算出しております。

なお、当組合は国内基準を採用しております。

金利リスクに関する事項

アウトライヤー基準に基づく金利リスク

（単位:百万円）

	平成26年9月期
	金利リスク（アウトライヤー基準）
金利ショックに対する経済価値の低下額Ⓐ	23,043

（単位:百万円）

運用勘定		調達勘定	
区分	金利リスク量	区分	金利リスク量
	平成26年9月期		平成26年9月期
貸出金	662	流動性預金	△286
有価証券等	23,058	定期性預金	△403
預け金	11		
運用勘定合計Ⓑ	23,733	調達勘定合計Ⓒ	△689

金利ショックに対する経済価値の低下額「金利リスク」Ⓐ ＝ 運用勘定の金利リスク量Ⓑ ＋ 調達勘定の金利リスク量Ⓒ
（23,043百万円）　（23,733百万円）　（△689百万円）

金利リスクの自己資本の額に対する比率は、バーゼルⅢに基づく国内基準で45.96%となります。

今後も当組合は、収益性を考慮しつつ金利リスクの軽減に努めるとともに、経営体力強化のために利益の積み上げによる自己資本の増強を図ります。

●お問い合わせ先
〒380-8668　長野市新田町1103番地1
総合企画部　TEL.026-233-2111㈹
［ホームページ］http://www.naganokenshin.jp
［E-mail］nkenshin@naganokenshin.jp



お使いみち自由で、暮らしを彩る。

フリーローン

プライベートベスト

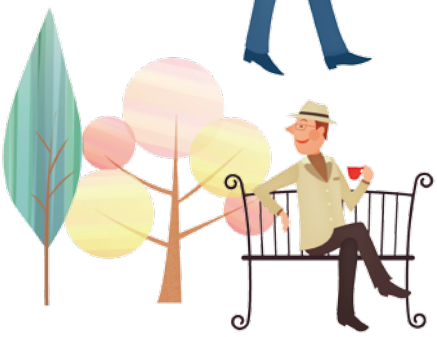






所得証明書・見積書 不要











ご融資利率［保証料込］＊固定金利

コース1 最優遇金利 年**6.4%**
通常金利 年7.8%

コース2 最優遇金利 年**8.4%**
通常金利 年9.8%

コース3 最優遇金利 年**12.4%**
通常金利 年13.8%

※保証会社の審査により、「コース1」、「コース2」、「コース3」のいずれかとなります。
※平成26年10月29日現在

ご融資金額 10万円以上300万円以内（1万円単位）

ご融資期間 6カ月以上7年以内

（個人事業者向けフリーローン「パーソナルベスト」との合計で300万円以内とさせていただきます。）

■ご利用いただける方／❶満20歳以上完済時満75歳以下で、安定継続した収入がある方❷株式会社クレディセゾンの保証が受けられる方■お使いみち／自由（事業性資金及び旧債返済資金は除く）■担保・保証人／不要■ご返済日／毎月7日■ご返済方法／❶元利均等毎月返済❷元利均等ボーナス併用返済

※店頭またはホームページでご返済額を試算いただけます。※金利は金融情勢により変更となる場合があります。※お申込時ではなく、お借入時の金利が適用となります。
※審査の結果、ご融資できない場合がございます。

お取り引きに応じて最大 年1.4%金利優遇いたします。

※お取り引き内容につきましては、店頭またはホームページにてご確認ください。

長野県信用組合 けんしん

【ホームページ】http://www.naganokenshin.jp